

1 取組名称

2020東京パラリンピック支援に関する教育的活動の推進

2 取組組織等

健康福祉学部

3 取組実施代表者名

健康福祉学部理学療法学科・教授 池田 誠

健康福祉学部作業療法学科・教授 石井良和

4 取組年度期間

平成26年度

5 取組の概要

2020年東京パラリンピックの開催が決定し、公立大学法人である本学健康福祉学部ではこのパラリンピックの支援を本学部として積極的に取り組むこととしている。

本取組では、パラリンピックに参加するアジアの発展途上国や小国に焦点を置いて、その国の文化、宗教、医療制度、食文化等について、学生に調べさせ、その成果を発表会で発表し冊子にまとめていく。さらに、その冊子は英語にも翻訳し、学生同士で英語でのプレゼンテーションができるところまで教育を国際化する予定である。アジアの発展途上国や小国に焦点を置く理由は、大都市東京のグローバル化に伴いアジアの諸国から到来する方々が病気や障害を有した場合の臨床の場面での対応として、異文化による差別をなくすことは極めて重要であり、その点についてオリンピック憲章にも謳われている。さらに、北京やロンドンパラリンピックでの帯同経験から、発展途上国や小国の障害者に対して自国の支援とともにパラリンピック開催国の支援も少ない印象を受けたということを受けて、アジアの発展途上国や小国に焦点を置くこととした。

6 事後評価での総合評定

3. 1 ※審査会(教育担当副学長及び部局長構成)の審査員が行った4段階評価(4~1、4が最高点)の平均点

7 事後評価に関する教育改革推進事業提案審査会での主な意見

- ・実際に車いすバスケットボール用の車いすを体験したり、移動交通施設の現状把握等により、バリアフリーの実現に対する問題点を理解させる取組みは適当である。
- ・障がい者スポーツを国際化の観点から取組もうとする意欲的な取組である。
- ・今後も健康福祉学部が主体的に取り組むべき課題といえるが、全学的視野に立った課題についても是非、積極的に取り上げてもらいたい。